

# 幽霊

作 ヘンリック・イブセン  
翻訳 青山杉作  
演出 林 清人

出演

小宮久美子

中山 研

平井真軌

松浦 唯

島田 仁

人の中に在る 人ならぬもの

無名塾

2024年11月21日(木)→24日(日)俳優座劇場



# 目を背けても消えない、 おそろしいもの

無名塾

# 幽霊

作=ヘンリック・イブセン  
翻訳=青山杉作  
演出=林 清人

					<b>STAFF</b> 装置=林 清人 音楽=日高哲英 照明=鈴木啓子 効果=山岸和郎 衣裳=竹林正人 舞台監督=泉 智幸 宣伝美術=市川きよあき イラスト=増田 恵 文=角田美和 製作=無名塾
アルヴィング夫人 小宮久美子	牧師マンデルス 中山 研	エングストランド 平井真軌	レジーネ 松浦 唯	オスワルト 島田 仁	

## 人間をほんとうに脅かすものとは—— イブセンのメッセージは今も警鐘を鳴らす。

19世紀、ノルウェー西部のフィヨルドの町。資産家で名士だったアルヴィング大尉が亡くなって10年が過ぎ、屋敷には未亡人のアルヴィング夫人、住み込みの若い娘レジーネが暮らしている。アルヴィング夫人は、亡き夫の遺産で建設した孤児院の開院式典を迎えようとしている。外国で暮らす一人息子のオスワルトも、晴れの日に数年ぶりに帰郷してきた。尊敬された亡夫、気丈な女主人、才能ある一人息子、慈善事業…、しかし、この完璧かに見える家族には、目をそらし、隠し続けてきた恐ろしい秘密があった——。

目に見えぬ因襲に縛られ、偽善にすぎた人間の姿を赤裸々に描いたイブセンの問題作は、発表当時、母国での上演を禁じられた。しかし、140年前に提示された家族と社会の持つ深刻な問題は、今でも、今だからこそ、よりリアルに人間の在り方を我々に問い続ける。世界が混迷を極め、命の重みが問われる今、無名塾が演劇史に残る名作に取り組みます。

### 俳優座『幽霊』(1955年)

劇団入団後まもなくオスワルト役に抜擢された仲代達矢は、その演技を評価され、「新劇」新人演技賞を受賞した。



左から、東山千栄子(アルヴィング夫人)、千田是也(牧師マンデルス) 仲代達矢(オスワルト)

## 2024年11月21日(木) → 24日(日) 俳優座劇場 〒106-0032 東京都港区六本木4-9-2

開演	21 木	22 金	23 土	24 日
14:00		●	●	●
18:30	●			

### ■料金(全席指定・税込)

前売 …………… 6,000円

当日 …………… 6,500円

※未就学児入場不可

※車イスでのご観劇につきましては、無名塾までお問い合わせ下さい。

### ■前売開始 10月10日(木)

※開場は開演の30分前

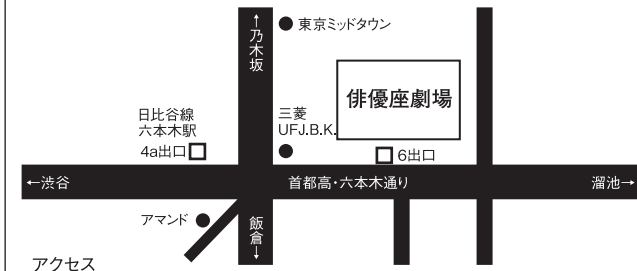
### ■チケット取扱い

無名塾 03-3709-7506

無名塾のホームページからご予約できます。 <https://mumeijuku.net/>

チケットぴあ (Pコード 529-038) <https://t.pia.jp/>

※公演に関する最新情報はホームページをご確認ください。



アクセス

【電車】・都営地下鉄大江戸線「六本木駅」6出口すぐ  
・東京メトロ日比谷線「六本木駅」4a出口 徒歩1分

【バス】渋谷駅から都バスにて、都01(新橋駅前行)、または渋88(新橋駅前行)にご乗車の上、「六本木駅前」停留所下車徒歩3分  
※都01折返(六本木ヒルズ行)は「六本木駅前」停留所には止まりません。

■お問合せ 無名塾 03-3709-7506 (休日を除く 月～金11:00～16:00)